

稲作情報No. 1

◎ 水稻の育苗開始時期です。 『いもち病対策を必ず行いましょう！』

☆いもち病対策は、まず**種子消毒を徹底**することが、その後の苗いもち、本田の葉いもち、穂いもちへの対策として重要です。「特別栽培米」と「JA米」では、使用する薬剤は異なりますが、必ず**種子消毒を実施**してください。

○種子消毒による「いもち病対策」

★「いもち病対策」はまず種子消毒を徹底する事が重要！！

必ず実施！



「特別栽培米」の場合

温湯消毒

→浸種～催芽時にエコホープDJ200倍液に24時間浸漬する。

- 容量比 1:2以上
種籾4kgに薬液8ℓ以上
- 薬剤温度
10℃以下、30℃以上は避けてください。
- 製造後6カ月以上経過したものは使用しないでください。

★微生物を有効成分とした農薬です。

「JA米」の場合

種子消毒(テクリードCフロアブル200倍とスミチオン乳剤1000倍の混合液に24時間浸漬)→浸種→催芽後播種→播種直後にナエファインフロアブル1000倍とベンレート水和剤500倍の混合液を1箱当り500ml散布する。

- 上記農薬は特別栽培米では使用できません。
- 上記農薬は「エコホープDJ」と併用できません。

○ご不明な点は、JA各支所営農経済推進係、または普及指導センターへお問い合わせください。

裏面にも記載しております。➡

◎ 飼料用米(みなちから)の種子消毒を行いましょう！

飼料用米(みなちから)では、「ごま葉枯病」対策として、
テクリードCフロアブル吹付処理済みの種子を配送しております。
ベンレートT水和剤20のみを使用して、種子消毒を行いましょう。

○種子消毒-①

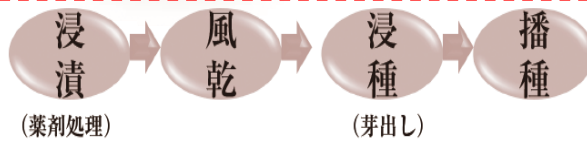
・播種量：150g/箱(乾籾120g)

名称	希釈倍率	使用方法
テクリードCフロアブル	※種子には事前に塗布済みです。使用する必要はありません。	
ベンレートT水和剤20	200倍	24時間浸漬

1箱当りの播種量について今一度確認ください。

希釈倍率、使用方法に注意し、種子消毒を行いましょう。

24時間の薬剤浸漬後、風乾する。
 ~パレット等を利用して行う~
 (種籾の水切りは完全に行う。4~5時間以上)



ベンレートT水和剤20による薬剤浸漬後には風乾を必ず行い、薬剤効果を高めましょう。

◎ 1袋15kgの肥料を使用の際は投入量に注意しましょう。

例 特別栽培米(夢つくし)

有機エムコート256 60kg/10a



有機エムコート355 55kg/10a



例 JA米(夢つくし)

エムコート2000 40kg/10a



NEW

Jコート2000 40kg/10a



令和6年産水稻より新たに採用したJコート2000は1袋15kgとなっています。投入量に注意し、使用しましょう！